

留学生の友人関係における期待と否定的認識との関連、及び満足度に関する研究

石原 翠

学位取得年月：平成 21 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】留学生、日本人学生、友人関係期待、体験の否定的認識

【要旨】

本研究では留学生の友人関係期待と否定的認識の関連を明らかにした。その結果、「対等な協働」期待と「被差別感」、「関係形成の障害感」の各認識、「共行動」期待と「関係形成の障害感」認識、及び「類似」期待と「関係形成の障害感」認識との間には負の相関が見られた。

また、「相互支援」期待と「言語コミュニケーションの障害感」認識、「アジアへの関心」期待と「被差別感」、「関係形成の障害感」、「日本人学生のアプローチ欠如感」、「興味・余裕の欠如感」、「言語コミュニケーションの障害感」の各認識、及び「個人への関心」期待と「興味・余裕の欠如感」、「言語コミュニケーションの障害感」の各認識との間には正の相関が見られた。

(いしはら みどり)

待遇レベルからみた中日両言語のあいづち表現の対照研究 —テレビのトーク番組において—

王 維

学位取得年月：平成 21 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】あいづち表現、中日対照、待遇レベル

【要旨】

本研究では、あいづちの不適切な使用を回避して、円滑なコミュニケーションを行うために、中国と日本のテレビ番組のデータを対象にして待遇レベルの観点から、中日両言語の会話におけるあいづち表現の異同を明確にした。その結果は以下のようである。

- ①中国語のデータには、「感声的表現」の中に、「哎呀」や「啊？」が年下のゲストに対する時しか使われないあいづちが見られる。年上に対する「先取り」が年下より多いことが注目される。
- ②日本語のデータには、あいづち詞（感声的表現や概念的表現）の使用があいづち表現の四分の三以上を占めている。年上に対して、丁寧体の概念的表現を使用し、年下に対して、「うん」や普通体のあいづちを使用することが多い。
- ③日本語のあいづちと比較すると、中国語のあいづちの使用回数は少ないが、種類の差はそれほど大きくない。中国語のデータには、あいづち詞以外のあいづち表現の使用は全体の半分近くになることが分かった。

(おう い)